

1学期英語学習のまとめ Speak Out

1年次生は「世界で活躍する日本人」について英語で発表

1年次生1学期の英語の学習のまとめとして、7・8月の授業等を利用して、「世界で活躍する日本人」について英語で発表しました。本校は10年ほど前から、山形「スピークアウト」方式の研究実践を行っています。山形「スピークアウト」方式では、教科書を2度使うことで定着度を高めることを目的としています。今回は、1学期に英語コミュニケーションIで扱った題材の中から、近藤麻理恵さんの生き方を紹介した英文を復習するとともに、世界で活躍する日本人を紹介するというスキット(英語による寸劇)を2~3人で作成し、クラス内で発表しました。



1年2組では、津田梅子さんや藤子 F 不二雄さん、大谷翔平さん、渡辺直美さんなど、様々な人を取り上げてクラスメイトに紹介しました。また、その人について友人と会話している場面や、テレビの情報番組でその人にインタビューする場面など、自分たちで場面を設定して、それに合わせた対話文を作り上げました。また、相手に伝える工夫として、一人一台貸与された Chromebook を活用して、プレゼンテーションスライドを使用したり、

関連する動画や音楽を流したりする姿も見られました。

生徒の感想には、「ただの暗記や読み上げではなく、相づちを工夫するなど、日常会話を再現できた」、「見せるだけではなく自分たちも楽しんでいるグループも多く、見習いたい」、「今後は1文を長くしすぎずに、聞いている人に伝わりやすい英文を作成したい」といったものがあり、次の機会を見据えて今後の学習に取り組む意欲が見られました。



同じ時期に2年次生は、「High schools should use a combination of in-person classes and online classes.」という論題に対するディベートに挑戦しました。立論だけを作成した1年次からステップアップし、今回はディフェンススピーチまでを作成し、実際にディベートを行いました。1年次生も2年次生も2学期の学習のまとめとして、12月にもこのような活動を予定しています。